

2014年1月6日  
昭和電線ホールディングス株式会社

あけましておめでとうございます。

当社グループの昨年1年間を振り返ってみますと、3月から大きな痛みを伴う事業構造改革を実施し、グループ営業力の強化や業績の改善など利益創出に向けて取り組んできました。結果、一定の成果を上げることはできましたが、まだ課題は残っており、緊張感とスピード感を持ち、グループの総力を上げて事業基盤の強化を図っていかねばなりません。

2014年度は中期経営計画「GROWTH 2014」の最終年度になりますが、これらの課題解決とオリンピック開催や老朽化したインフラの整備等国内経済の今後の動向を見据えて計画を見直し、2014年度を初年度とした3年間の中期経営計画として「GROWTH 2016」の策定をスタートしました。今まで進めてきたグループ営業力の強化・拡大を中心に新たな需要や顧客の開発に向け積極的に活動するとともに現中期経営計画で進めてきた新規事業、新製品開発を事業化に結びつけていきたいと思っております。

また、従来から取り組んできた業務変革活動については、範囲を広げ深堀していきたいと考えています。今までも申し上げてきましたが、従来からの業務の進め方、取引形態等の抜本的な見直しが全ての部門で必要です。

さて、足元の対応ですが、今年度も最後の3ヶ月を残すのみとなりました。今年度の目標を達成するにはこの第4四半期の利益を確実に確保しなければなりません。最優先課題と位置付け全員で注力していきましょう。

最後になりますが、労働災害については、一人一人の意識向上を図ることが重要ですが、職場において特に管理職の方が先頭に立って指導し、全員参加の活動を展開するよう改めてお願い致します。

本年も当社グループを取り巻く環境はまだ厳しいと予想しますが、私達自らが乗り越えていかねばなりません。今年が皆様にとっても当社グループにとっても良い年となるよう自分達の持っている力を信じて前向きに進んでいきましょう。

昭和電線ホールディングス株式会社

取締役社長 相原 雅憲

この件に関するお問合せ先

経営企画部 IR・広報グループ 菅井 幹夫 TEL 03-5404-6951